2026학년도 중등학교교사 임용후보자 선정경쟁시험

일 본 어

수험 번호 : (　　)　　**성　명 : (　　)**

제1차 시험	2교시 전공A	12문항 40점	시험 시간 90분

○ 문제지 전체 면수가 맞는지 확인하시오.
○ 모든 문항에는 배점이 표시되어 있습니다.

※ 答えはすべて日本語で書くこと。

1. 次の＜A＞は、2022改定第2外国語科教育課程(教育部告示第2022-33号)による日本語科目の目標に関する内容であり、＜B＞は＜A＞にかかわる教師と学生の会話である。(　ⓐ　)と(　ⓑ　)に入ることばをそれぞれ書きなさい。[2点]

＜A＞

日常生活に必要である基礎的な(　ⓐ　)能力と、(　ⓑ　)に関する理解をもとに相互文化的な観点から日本人と交流できる能力を養う。

＜B＞

学生：先生、ドラマで「先生のお宅にうかがいます」という表現を聞きましたが、「うかがいます」はどんな時に使いますか。
教師：いい質問ですね。目上の人に対して、自分のことを低めていう謙譲語なんですよ。
学生：へえ、そうなんですか。ため口には慣れていますが、謙譲語とかはよくわからなくて。
教師：そうですよね。でも、相手を配慮しながら話すことは、円滑な(　ⓐ　)につながりますからね。
学生：そうですね。
教師：他にも、気をつけた方がいいことがありますよ。
学生：へえ、他にもあるんですか。
教師：例えば、日本ではお見舞いの時に、植木鉢を持っていくのは避けた方がいいんですよ。植木鉢には根があって「寝付く」ということばを連想させますからね。
学生：あ、そうなんですか。韓国では何の問題もないですけど、日本ではダメなんですね。
教師：そうです。韓国文化と(　ⓑ　)を相互的な観点から理解する必要がありますね。
学生：そうですね。勉強になりました。

2. 次の(　ⓐ　)と(　ⓑ　)に入ることばをそれぞれ書きなさい。[2点]

漢字と仮名を交えて日本語を表記する場合、その漢字の読み方を明確にするために添えるものを「(　ⓐ　)」と言うが、公用文書・新聞など一般の社会生活において、そのよりどころとして公示された規則が、「(　ⓐ　)の付け方」である。

それによると、活用のある語は「書く」「考える」「賢い」「主だ」などのように、活用語尾を付けるのが「本則」とされている。しかし、形容詞の場合、語幹が「し」で終わるイ形容詞は「し」から付けることと、「暖かだ」「穏やかだ」「明(　ⓑ　)だ」など、活用語尾の前に「か」「やか」「(　ⓑ　)」を含むナ形容詞は、その音節から付けることが「例外」で決められている。

3. 次の(　ⓐ　)と(　ⓑ　)に入ることばをそれぞれ書きなさい。[2点]

神社やお寺などに行くと、お参りする人を当てこんで売っている招き猫、七福神、熊手などがあるが、これらは(　ⓐ　)物である。もともと、(　ⓐ　)とは、ものごとの起源や由来、または吉凶のきざしの意で、「(　ⓐ　)がいい」といえば、良いことが起こりそうな前ぶれだという意味になる。

(　ⓑ　)もその一種で、大師の座禅姿をまねた張り子の民芸品であるが、顔面以外は赤く塗られ、底を重くして、倒れてもすぐに立つように作ってある。最初は片方の目だけを描き、願いが叶うともう一方の目を描き込む風習がある。



4. 次は文学作品の説明である。(1)~(4)を成立年代の早い順に並べかえなさい。また、(2)に該当する作品名を書きなさい。[2点]

(1) 作者鴨長明が晩年、日野山に庵を結び、人生の無常、当時起きた悲惨な天災地変、自己の閑居での安静な生活と心境などについて記した作品である。随筆ではあるが、構想は首尾一貫しており、変動と不安の時代に、主体的な生き方を示した。

(2) 紀貫之の晩年の作である。冒頭に「男もすなる日記といふものを、女もしてみむとて、するなり。」と、女性に仮託している。自分の周囲にまきおこるさまざまな出来事やそれに対する感慨、さらに任地で亡くなった女児への思いを書き綴っている。

(3) 元明天皇の詔に応じて撰進され、各国の産物地味、地名の由来などについて各国庁が報告した公文書である。当時の地方の人々の生活を写し出す地誌として貴重であり、中央に伝わらない地方民間の伝説や歌謡が採録されている。

(4) 門人河合曾良とともに東北・北陸を経て大垣に至り舟で伊勢へ発つまでの、旅程六百里、五か月余りにわたる旅の紀行である。文体は漢語を交え、力強く簡潔で、旅中の情景がよく描き尽くされている。

5. 次の下線部ⓐとⓑをそれぞれ正しく直しなさい。また、下線部ⓒを日本語に訳しなさい。[4点]

観光客の殺到で地域住民の生活に支障が出る「オーバーツーリズム」が、欧州各地で社会問題になっている。

スペインのバルセロナでは民泊が増加した結果、一般向けの住宅供給が滞り、家賃が高騰した。当局は民泊を段階的に廃止し、民泊税を市民に還元する施策を始めた。ⓐつまり、家賃は依然として高く、不満を募らせた市民がデモをⓑ繰り返されている。

イタリアのベネチアは2024年、日帰りの観光客から1日5ユーロ(約870円)の入域税を予約時に徴収する仕組みを導入した。今年から直前の申し込み分は2倍に引き上げたが、観光客を減らす効果はほとんど出ていない。

観光は地域の成長を支える産業である。オーバーツーリズムを解消するには観光客の抑制が必要となるが、対策が厳しすぎれば経済を圧迫しかねない。観光収入の維持と混雑緩和を両立させる難しさが浮彫りになっている。

日本でも有名観光地でオーバーツーリズムが深刻化している。円安などを背景に訪日外国人は急増しており、ⓒ그들에 의한 매너 위반이나 교통 정체가 문제가 되고 있다.

トルコでは、環境や地域に配慮した宿泊施設を認証する制度を国主導で取り入れ、自然環境や文化遺産の保護と観光振興のバランスを取る取り組みを進める。

日本でも、政府が効果的な事例を収集してほかの自治体に広げる施策を進めている。世界の国々の試行錯誤を参考に、持続可能な取り組みをしていかなければならない。

毎日新聞社説より改変

6. 次は教具についての教育実習生たちの会話である。(ⓐ)と(ⓑ)に入ることばをそれぞれ書きなさい。また、下線部ⓒが意味することを<条件>に従い書きなさい。[4点]

A：来週から教育実習だね。準備はうまくいってる？
B：うん。まだひらがなも読めない学生が多いって聞いたから、教科書以外に教具も使おうと思ってるんだ。
A：授業はひらがなからでしょ？教具を使うなら、(ⓐ)はどう？ひらがな、カタカナ、新出単語の導入や練習にも使えるし。それを次々テンポよくめくっていって、学生に単語を言わせるフラッシュ・カードとしても活用できるんじゃない？
B：うん。それもいいけど、今、考えてるのは、日本で買ってきた雑誌とかの生教材なの。例えば、「本」っていう単語が出る時に、実物を見せて(ⓑ)として使えば、現実感があるんじゃないかなと思って。
A：生教材を(ⓑ)として使うっていうことか。いいね。でも、その場合は、ⓒ教師の意図が伝わらないこともあるから、気をつけなきゃね。
B：そうだね。媒介語を使わないで意味を伝えるのは、本当に難しいよね。

<条件>

○「雑誌」と「本」ということばを用いること。
○ 教師の行為と学生の理解を含めて説明すること。

7. 次の(ⓐ)と(ⓑ)に入ることばをそれぞれ書きなさい。また、下線部ⓒの( )に入ることばを書き、ⓒの意味を説明しなさい。[4点]

複数の語が一緒に使われるとき、「約束を破る」「うそを(ⓐ)」のように、語の結合はある程度固定しているが、その構成語の意味から、容易に意味が類推できるものを連語と呼ぶ。また、「骨を折る」「手を焼く」のように語の結合が固定していて、その構成語の意味が分かっていても、句全体の意味が分からないものを(ⓑ)と呼ぶ。

さらに、(ⓑ)には「足を洗う」のように、普通の句としての文字通りの意味と、特殊な意味が併存しているものもあれば、「図に乗る」「ⓒ腹が( )」のように、文字通りには解釈不能なものもある。

8. 次の(ⓐ)と(ⓑ)に入ることばをそれぞれ書きなさい。また、下線部ⓒを説明しなさい。[4点]

日本語の「と」格の名詞句は、動作の相手を表すが、(1)のように事態の成立に不可欠な(ⓐ)補語の場合と、(2)のようになくても事態が成立しうる副次補語の場合がある。後者の場合は、「と」の代わりに、「といっしょに」「とともに」などを用いて表すこともできる。

(1) 友だちとテニスの試合をした。
(2) 友だちと買い物に行った。

また、動作の相手は、「と」のほかに、「に」でも表される。例えば、「話す」「ぶつかる」といった動作の相手は、(3)のように「と」でも「に」でも表すことができる。しかし、「～合う」という形の複合動詞になると、(4)のように(ⓑ)しか認められない。

(3) 昨日、田中先生{と／に}話しました。
(4) 昨日、田中先生(ⓑ)話し合いました。

このように、ⓒ相手を表す「に」格と「と」格の用法上の違いが存在する。

9. 次の下線部ⓐ～ⓕから不自然な表現を２つ選び、その理由をそれぞれ説明しなさい。[4点]

野田：パクさん、ⓐ卒業したら国に帰りますか。
パク：今学期中に卒論がⓑ終われば、来年は日本で就活するつもりです。
野田：そうなんですね。どこで働きたいですか。
パク：大学をⓒ卒業すると、東京に行きたいんです。
野田：東京ですか。東京はIT企業もたくさんありますし、頑張ってくださいね。
パク：ありがとうございます。
あ、私、昼ごはんまだなんですけど、この近くにコンビニありますか。
野田：あそこの郵便局を右にⓓ曲がると、ありますよ。コンビニにⓔ行ったら、一緒に行きましょう。
パク：お昼まだなんですか。
野田：はい。パクさんがⓕ大丈夫なら、一緒に食べませんか。
パク：いいですね。そうしましょう。

10. 次の文章を読み、(1)～(3)を最も自然な文章になるように並べかえなさい。また、下線部ⓐの読み方を書きなさい。さらに、下線部ⓑの意味を＜条件＞に従い説明しなさい。[4点]

海外旅行の楽しみはフリーマーケットだという人は少なくない。古着や雑貨など思いがけないものが並んでいる。このような市は19世紀にパリ郊外で開かれたガラクタ市が始まりとされ、蚤がつくほど古いものを売っているので「蚤のⓐ市」と呼ばれた。

(1) ところが、日本語の誤用を取り上げた本では、必ず、「Free Market」は「Flea Market」の間違いと指摘されている。「自由市場」ではなく「蚤のⓐ市」である、と。

(2) 誰でも自由に売ったり買ったりできるというので、こちらは「Free Market(フリーマーケット)」となった。カタカナ表記は同じである。

(3) その後、英語圏にも広がり、英語でノミはfleaだから「Flea Market(フリーマーケット)」と呼ばれた。日本では1979年に最初に開催されたとされる。

しかし、日本フリーマーケット協会のホームページを見ると、「本来『蚤のⓐ市』と訳される『Flea Market』を日本で開催するにあたり、誰もが気軽に参加できるよう親しみを込めて『Free Market』とした」と書いてある。ⓑもともとの語源は語源として、日本では自由市場でいいのだった。

坪内忠太『日本語の雑学』より改変

＜条件＞
○「Flea Market」と「Free Market」ということばを用いること。

11. 次の(　ⓐ　)と(　ⓑ　)に入ることばをそれぞれ書きなさい。また、(　ⓒ　)に該当する例を1つ書き、それを＜条件＞に従い説明しなさい。[4点]

日本語における固有の語、すなわち、漢語などが渡来する以前から存在した日本固有のことばを和語と呼ぶ。和語にはいろいろな特徴があるが、特に語形に現れるものとしては、「山＋さくら→やまざくら」のような(　ⓐ　)や「さけ＋や→(　ⓑ　)」のような転音などがある。

また、和語は名詞・動詞・形容詞などすべての品詞に分布しており、中でも名詞の場合は、植物、魚、鳥、虫など、自然に関する語彙が豊富だといわれる。動詞の場合は、和語以外に、「勉強する」「事故る」のような漢語由来のもの、また、サ変動詞「ドライブする」やこれとは活用のタイプの異なる「(　ⓒ　)」のような外来語由来のものがある。

＜条件＞

○ その語の造り方(語構成)を説明すること。

12. 次は読解の指導法についての教師と教育実習生の会話である。下線部ⓐに該当する用語を書きなさい。また、(　ⓑ　)に入ることばを書きなさい。さらに、(　ⓒ　)に入る説明を＜条件＞に従い書きなさい。[4点]

キム：先生、読解の模擬授業のことなんですが、まず最初に新出単語を教えてから文章を精読させる、という形で教案を書いてみようと思いますが、いかがでしょうか。

教師：うーん。キムさんが話してくれたのは、ⓐ小さい単位から大きい単位へと進む情報処理の流れを活かした授業ですよね。実は、これとは対照的な形で文章を読むこともできるんですよ。ちょっと考えてみてほしいんですけど、キムさんが読解をする時、文章以外の周辺的なものが内容を理解するのに役立ったことはありませんか。

キム：ええと。あ、タイトルや(　ⓑ　)が内容理解の役に立ちました。それと、自分が知っている背景知識も役に立ったと思います。

教師：そうでしょう？まず、(　　ⓒ　　)。それから、文や単語といった小さい単位へ向かって理解を進めていく。こういう流れで文章を読むこともできますよね。この流れを活かした教案を、一度考えてみてください。

＜条件＞

○「情報」と「内容」という語を用いること。

<수고하셨습니다.>